

校長挨拶



校長 橋本陽生

京三中・山城高同窓会が、本校創立百年を迎えて、過去の足跡を辿り、素晴らしい実績の数々など、先人の努力の結晶を蘇らせるものとして、記念誌を発行される運びとなり、心よりお喜び申し上げます。

また、記念行事の一環として、母校の新体育館の正面を飾る緞帳並びに暗幕をはじめ、教育充実に資する機器等をご寄贈いただき、深く感謝の意を表します。顧みますれば、本校が京都府立第五中学校としてこの地に創立された明治四十年といえ、日露戦争が終わり、ようやく近代国家の体制を整えつつある時期でした。また、本校百年の歴史は、日本の歴史の激動の中で、変遷めまぐるしいものがありました。その思い出の一こま一こまにも当時の国情や世情が物語られていると思います。

今、我が国はいろいろな矛盾と弱点を抱えながら、経済的には世界有数の国家となり、経済のみならず、政治・外交・文化の各方面で世界の舞台で一定の役割を果たすことが期待され、その動向が注目されています。現在の日本、本校が過去の歴史の集積の上にあることを思い、この記念誌発行を機として、日本の歴史を振り返り、先人の苦勞を偲び、数々の輝かしい栄光に敬意を表しながら、心新たに今日の問題の解決に励みたいと存じます。また、教育改革の中、次ぎの百年にむけて、この輝かしい歴史と伝統の上に新たな学校づくりに邁進してまいりたいと思っております。今後とも、母校に対するご支援を切に願います次第です。

最後に、世代間の断絶、人間関係の希薄さが問題になっているおりから、京三中卒業であれ、山城高校卒業であれ、同じくこの地、この学校で学んだ思い出から一つにまとめられたこの記念誌の発行を共有財産、心のよりどころとし、今後とも、京三中・山城高同窓会が名実ともに、会員相互の交流を通じて太い絆で結ばれ、さらに大きく発展されんことをお祈りいたします。